

28年度 政務活動費支出整理簿

会派名 無所属  
 氏名 吉由浩一

項目	調査研究費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	10/25	99900	調査視察旅費 宿泊費(久留米市) (日程視察等は調査視察等届出書等に記載)
2	11/28	138180	調査視察旅費 宿泊費(大分市) (日程視察等は調査視察等届出書等に記載)
3	1/10	96690	調査視察旅費 宿泊費(長浜市、上田市) (日程視察等は調査視察等届出書等に記載)
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		334770	備 考
合計		334770	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

平成28年9月26日

会派名 無所属  
代表者名 吉田淳一様

氏名 吉田淳一



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 吉田淳一
- 2 期間 平成28年10月25日(火)～平成28年10月26日(水)
- 3 場所 福岡県久留米市
- 4 目的及び内容 福岡県久留米市  
・連携中枢都市圏構想について（定住自立圏からの移行）
- 5 経費 99,900円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	10/25	本八戸駅発 7:38	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	10/25	久留米駅着 17:39	早見表					
帰	10/26	久留米駅発 11:49						
	10/26	本八戸駅着 21:24						
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1,853.0k	19,080	34,340	本八戸⇄久留米 (往復割引、JR九州加算含む)	
				k				
				k				
			急 行 料 金	特	2	6,160	12,320	八戸⇄東京 631.9k
					2	8,610	17,220	東京⇄博多 1,174.9k
			急					
			特 別 車 両 料 金		2	4,110	8,220	八戸⇄東京 631.9k
					2	7,650	15,300	博多⇄東京 1,174.9k
宿 泊 料		1	12,500	12,500	10/25 久留米市			
小 計						99,900		
合 計 (小計×人数)						99,900	1名	

日程表 平成28年10月25日(火)～26日(水)

月 日	行 程	宿 泊
<p>10月25日 (火)</p>	<p>7:38 発 本八戸 - 八戸線 - 八戸 - はやぶさ10 - 東京 - のぞみ29 - 博多 - 鹿兒島本線 - 準快速・荒木行            7:48 着/8:11 発 八戸 - はやぶさ10 - 東京 - のぞみ29 - 博多 - 鹿兒島本線 - 準快速・荒木行            11:04 着/11:30 発 東京 - のぞみ29 - 博多 - 鹿兒島本線 - 準快速・荒木行            16:39 着/17:04 発 博多 - 鹿兒島本線 - 準快速・荒木行            17:39 着 久留米</p>	<p>久留米市内</p>
<p>10月26日 (水)</p>	<p>9:00～11:00 久留米市 視察「連携中枢都市圏構想について(定住自立圏からの移行)」            [担当]久留米市議会議事事務局 しき 様            [会場]久留米シティプラザ [住所] 〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1</p> <p>11:49 発 久留米 - 鹿兒島本線 - 博多 - のぞみ30 - 東京 - はやぶさ31 - 八戸線 - 本八戸            12:22 着/12:32 発 博多 - のぞみ30 - 東京 - はやぶさ31 - 八戸線 - 本八戸            17:33 着/18:20 発 八戸線 - 本八戸            21:08 着/21:16 発 八戸線 - 本八戸            21:24 着 本八戸</p>	

第5号様式（第6条、第8条関係）

平成28年11月21日

会派名 無所属  
代表者名 吉田淳一様

氏名 吉田淳一



### 調査視察等報告書

平成28年9月26日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会  
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告しま  
す。

- 1 旅行者 吉田淳一
- 2 期間 平成28年10月25日(火)～平成28年10月26日(水)
- 3 場所 福岡県久留米市
- 4 概要 別紙のとおり

## 『久留米市』

### 【視察対応者】

久留米市 市議会 副議長 森 多三郎 氏  
市民文化部 文化芸術担当部長兼シティプラザ統括部長 甲斐田 忠之 氏  
総合政策部 広域行政推進課 主査 山下 泰利 氏  
同 水島 俊基 氏  
議会事務局 議事調査課 主査 志岐 明洋 氏

### 【視察概要】

森副議長、甲斐田文化芸術担当部長から、開会の挨拶のあと、坂本議員連盟会長から視察受入に対して御礼を申し上げ、山下氏から、圏域の概要とともに、連携中枢都市圏の取組について説明を受けた。



【坂本議員連盟会長から挨拶】

### 1. 久留米市の概要・シティプラザ

- ▶ 久留米市は、東芝を創った田中久重やブリヂストンを創業した石橋正二郎等を輩出している。
- ▶ 産業として、工業では、ブリヂストンによるゴム加工、ダイハツ自動車のエンジン部門等がある。
- ▶ また、筑後平野の中心に位置し、農業が盛んであり、特にぶどうや梨などの観光農業に力を入れている。
- ▶ 高度先進医療都市を自負するとともに目指している。1000床以上の病床を有する病院が3病院あり、PET装置を配備するなど、先進的な癌医療にも対応している。
- ▶ 現在の久留米市の3大プロジェクトとして、老朽化した市民会館を立て替えし、建設したシティプラザ(約180億円)、ごみ処理場(146億円)、2年後完成予定の総合体育館(79億円)がある。
- ▶ シティプラザは、本年4月27日に開館、初年度はオープニングイヤーとして3大オーケストラの1つであるウィーンフィルハーモニーを招聘し、市民や連携市町の住民に対し、優先先行販売を行った。
- ▶ 半年での来館者数は約30万人、開館への期待が大きい分、サービス、貸し館事業等について、ご意見をいただいている。

### 2. 久留米広域連携中枢都市圏の形成について

- ▶ 久留米市は、平成22年に、小都市、大川市、うきは市、大刀洗町、大木町の3市2町と定住自立圏を形成している。
- ▶ 連携中枢都市圏については、平成27年2月に開催した久留米広域定住自立圏推進協議会において、研究並びに情勢を踏まえ、連携中枢都市圏の形成に向けた具体的な協議・調整を開始することを首長間で確認した。



【森久留米市議会副議長】

- 同年4月には、6市町の首長会議である「久留米広域連携中枢都市圏推進協議会」を設置し、11月には、久留米市が連携中枢都市宣言を実施、12月には、4市2町にて連携協約を議決、翌28年1月にビジョン懇談会の全体会及び分科会を設置し、2月23日にビジョンの策定と連携協約の締結を行った。
- 圏域の目指す将来像として「住み続けたい、暮らしてみたい、訪れてみたい～魅力ある久留米広域連携中枢都市圏の創造～」を掲げ、将来像の実現に向けた基本方針として、①圏域内に仕事をつくり、安心して働くことができる「雇用の創出」、②本圏域への新しい人の流れをつくる「流出人口の抑制、圏域外からの移住・定住の促進、交流人口の増加促進」、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる「結婚、子育て環境づくり」、④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る「快適な生活環境の整備」の4つの視点を持って移住人口、定住人口及び交流人口の増加に資する施策を積極的に展開することとしている。

### 3. 久留米広域連携中枢都市圏での取組みについて

- 連携事業として、定住自立圏からの15事業と、新たに位置づけた26事業の41事業がある。
- 施策レベルでは、「産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備」として、久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会等運営事業を実施。
- 「地域資源を活用した地域経済の裾野拡大」として、都内におけるアンテナショップ事業や圏域内6つの高等教育機関を始め、圏域の学生の地元就職支援の推進など。
- 「地域産業の育成」として、異分野や異業種、大学等とのマッチングの場を設けるほか、各種セミナーの開催による地域産業の創出や育成・強化など。
- 「戦略的な観光の推進」として、東アジア諸国を視野に入れた広域的な観光誘客の推進や新たに整備・充実されるMICE（会議・研修旅行・大会・国際会議・展示会等）関連施設を活用した誘致など。
- 「圏域全体の賑わいづくり」として、久留米シティプラザを「文化」「活力」創造の拠点として、広域的な交流促進や街なかの求心力と賑わいを高める取組など。
- 「高度な医療サービスの提供」として、ドクターカーの圏域内運用など、圏域全体で病院前救急医療の提供を行う研究を実施。
- 「文化芸術に触れる機会の提供」として、できるだけ多くの子ども達に対する、優れた文化芸術の機会の提供など。
- 「地域医療」として、救急医療体制（輪番制）の維持・確保や、久留米広域小児救急センターにおける小児科医の確保及び安定した財源の確保を実施。
- 「子育て支援」として、多様な保育サービスの充実や子育てを支える活動を促進。
- 「地域振興」として、魅力ある景観や歴史街道などの町並み等を観光資源として位置づけ、圏域全体で活用するとともに、圏域内で実施される様々なイベントや行事等を内外に広く情報発信。
- 「地域公共交通」として、路線再編の検討や、利用に関する情報提供等に取り組む。
- 「地域内外の住民との交流・移住促進」として、圏域の魅力を一体的かつ効果的に発信するなど、スケールメリットを生かした事業を実施。
- 「人材の育成及び確保」として、圏域職員の意識変革と圏域全体をマネジメントできる能力や専門性の向上に取り組む。

#### 4 質疑応答

➤ 41 事業の詳細について、後日提供いただきたい。  
⇒送付する。

➤ アンテナショップはどこに設置するのか。また、行政職員を配置するのか。

⇒都内新橋を予定、民間に委託し、公設民営で行う。設置については、久留米市が行い、経費も負担する。町村はイベント等を行った際は、それぞれの予算でお願いする（特別交付税措置対象）。

➤ ビジョン懇談会の推進体制としてどのように運営しているか。

⇒産学官等の関係者により構成しており、ビジョンについて、様々なご意見をいただいている。開催回数については、今年度は、進捗等について 12 月に 1 回開催予定。定住自立圏では、年 2 回開催していた。1 回目は前年度の事業報告、2 回目は次年度の事業についてご意見をいただいていた。

➤ 41 事業のうち連携市町から提案のあった事業はあったか。

⇒就労支援について、取り組んでほしいという声があった。また、ジビエの活用についてご意見はいただいたが、事業化が難しく今後検討していきたいと考えている。

➤ 久留米市の人口増加の要因は、また、地元出身の芸能人を起用されているが反応はどうか。

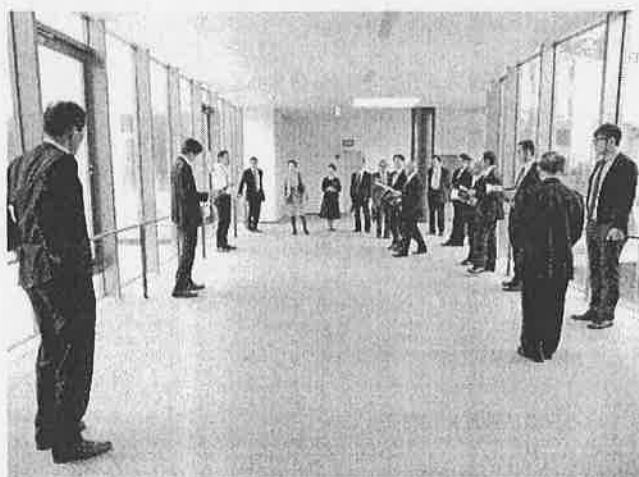
⇒人口増加の要因としては、九州新幹線の開業により、アクセスの向上、子育て支援の取り組みなど、複数の取り組みが結びついていると考える。有名人の起用については、久留米市は全国区では知名度が高くない。有名人を起用することにより、認知していただけたと思う。

➤ 地域公共交通における具体的な取組をお聞きしたい。

⇒全ての公共交通、全ての事業者を対象として交通マップの作成を行っている。ネットワークの再構築として、寄り道バスを進めている。



【視察中の様子】



※会議室での連携中枢都市圏の取り組みに関する説明を受けた後、久留米シティプラザ館内の視察を行った。



## 【総 括】

- 久留米広域連携中枢都市圏における「文化芸術に触れる機会の提供」として、できるだけ多くの子ども達に対して、優れた文化芸術の機会を提供している点などについては、当圏域においても今後、美術館等を整備する上で、考慮していかなければならないと感じた。
- 平成 29 年 1 月に当市は中核市へと移行し、その後、8 市町村における連携中枢都市圏の形成を目指しているが、これまでの定住自立圏同様、自治体間の職員のみならず、議員連盟としても議員間の連携を図り、意見交換をしていくことが重要と考える。

第3号様式（第6条、第8条関係）

平成28年10月21日

会派名 無所属  
代表者名 吉田淳一様

氏名 吉田淳一



## 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 吉田淳一 議長
- 2 期間 平成28年11月28日(月)～平成28年11月30日(水)
- 3 場所 大分県大分市
- 4 目的及び内容 大分県大分市
  - ・大分県立美術館 視察
  - ・iichiko 総合文化センター  
(大分県立総合文化センター) 視察
  - ・ホルトホール大分 視察
- 5 経費 138,180円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎						
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
行	11/28	本八戸駅発 8:40	早見表						
	11/28	大分駅前着 17:33							
帰	11/30	大分駅前発 8:35							
	11/30	本八戸駅着 16:37							
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	641.1k	9,610	17,280	本八戸⇄浜松町(往復割引)		
			急行料金	特	2	6,160	12,320	八戸⇄東京 631.9k	
			特別車両料金		2	4,110	8,220	八戸⇄東京 631.9k	
			航空運賃		2	35,890	71,780	羽田空港⇄大分空港(往復割引)	
			宿泊料		2	12,500	25,000	11/28、11/29 大分市	
			連絡バス		2	1,300	2,600	大分空港⇄大分駅前	
			東京モレール		2	490	980	浜松町⇄羽田空港	
						小 計		138,180	
						合 計 (小計×人数)		138,180	1名

日程表 平成28年11月28日(月)～30日(水)

県立八戸芸術パーク・屋内スケート場早期建設促進八戸市議会議員連盟

月 日	行 程	宿 泊
11月28日 (月)	<p>8:40 発 本八戸 - 八戸線 - 八戸 - はやぶさ12 - 東京 - 京浜東北根岸線 - 浜松町 - 東京モレール - 羽田空港 12:04 着/12:18 発</p> <p>14:40 発 羽田空港 - JAL667 - 大分空港 - 連絡バス - 大分 16:20 着/16:40 発 17:33 着</p> <p>8:50 着/9:05 発 12:22 着/12:28 発 12:47 着</p>	
11月29日 (火)	<p>10:00～12:00 <u>ichiko総合文化センター(大分県立総合文化センター) 視察</u> [住所] 〒870-0029 大分県大分市高砂町2-33 [TEL] 097-533-4000</p> <p>13:00～15:00 <u>大分県立美術館 視察</u> [住所] 〒870-0036 大分県大分市寿町 2-1 [TEL] 097-533-4500</p> <p>15:30～16:30 <u>ホルトホール大分 視察</u> [住所] 〒870-0839 大分県大分市金池南 1-5-1 [TEL] 097-576-7555</p>	大分市内
11月30日 (水)	<p>8:35 発 大分 - 連絡バス - 大分空港 - JAL664 - 羽田空港 - 東京モレール - 京浜東北根岸線 - 浜松町 - 東京モレール - 羽田空港 12:00 着/12:31 発 12:49 着/12:55 発 12:59 着</p> <p>13:20 発 東京 - はやぶさ21 - 八戸 - 八戸線 - 本八戸 16:13 着/16:29 発 16:37 着</p>	

第5号様式（第6条、第8条関係）

平成28年12月19日

会派名 無所属  
代表者名 吉田淳一様

氏名 吉田淳一



### 調査視察等報告書

平成28年10月21日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会  
政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 吉田淳一議長
- 2 期間 平成28年11月28日(月)～平成28年11月30日(水)
- 3 場所 大分県大分市
- 4 概要 別紙のとおり

# 先進事例視察報告書

平成28年11月28日(月)～30日(水)

【大分県大分市】

- i i c h i k o 総合文化センター（大分県立総合文化センター）
- 大分県立美術館
- ホルトホール大分

県立八戸芸術パーク・屋内スケート場早期建設促進八戸市議会議員連盟

# 『i i c h i k o 総合文化センター（大分県立総合文化センター）』

## 【視察対応者】

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団（指定管理者）

専務理事 照山龍治氏、副館長 酒井宏氏、総務課課長代理 塩月孝子氏、

美術館副館長 渡辺修武氏、同副館長 加藤康彦氏、管理課課長代理 太田誠氏

## 【視察概要】

### 1. 整備の経緯

- OASISひろば 21 中にある文化ホール施設で、老朽化した県立芸術会館の代替施設として整備され、生活文化創造の拠点づくりに向けて、平成 10 年 9 月に開館した。

### 2. 施設の概要

- グランシアタ（大ホール） 1, 9 6 6 席  
音楽、演劇、オペラ、バレエ、舞踏等あらゆる舞台芸術に対応できる多機能ホール
  - 音の泉ホール（中ホール） 7 1 0 席  
室内楽、独奏等のクラシックコンサートなど生演奏のコンサートを主目的とする音響を重視したホール
  - アトリウムプラザ 約 1, 4 0 0 m<sup>2</sup>  
ガラスで囲まれた屋内広場で、憩いの空間となりイベント広場ともなる
  - 会議室（6 室）
  - ギャラリー
  - 練習室（10 室）
  - 地下駐車場 2 9 5 台
- 県立病院の移転に伴い、跡地を OASISひろば 21 として整備し、NHK 大分支局、オアシスタワーホテル、商業施設と一体となった複合施設となっている。

### 3. 説明概要

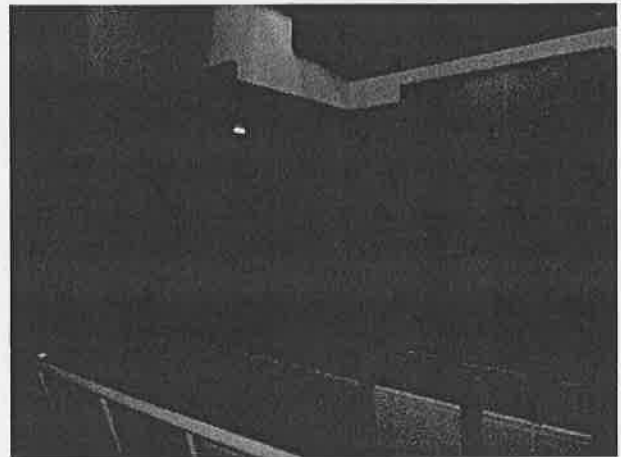
- 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団は、大分県の芸術文化振興、国際交流の促進、スポーツ振興を行う財団である。iichiko 総合文化センター、国際交流プラザ、県立美術館の指定管理を行っている。
- 財団の経営の中で、施設の利用料金収入のほか、文化センターと美術館の地下にある駐車場の利用料金収入が比較的大きい収益となっている。その他、平成 27 年度は県からの補助金が大きかった。
- 施設運営においては、ホール利用率、駐車場利用状況とも順調に推移している。
- 財団の自主事業として、芸術文化公演や人材育成、国際交流、スポーツ振興に取り組んでいる。  
また、県の芸術文化ゾーンとして位置付けられている当施設周辺地域は、大分駅から中心商店街を通り文化センター・美術館まで、アーケードによって結ばれ、雨に濡れることなく歩くことができる。周辺地域全体の活性化のため、県や商店街と実行委員会を形成し、各種イベントを実施するなど、地域振興にも努めている。

#### 4. 質疑応答

- ▶ 収益の中で駐車場収入がかなり大きいとのことだが、民間の駐車場からの反発はないのか。
  - ・駅前という立地環境から、時間上制限を入れると通勤駐車場に利用されてしまうので、料金は利用時間に応じた金額となっている。施設利用者は、短時間の利用が多いので、回転率で収益が上がっているものと思っている。料金設定も、周辺より安くならないようにしている。
- ▶ 市立のホールとの棲み分け、調整はどうか。
  - ・催事に応じて、ホールの特性、客席数、利用料金等を比較して、どちらを利用するかが分かれているように感じる。
- ▶ 県民ボランティアは、全ての施設のガイド等のボランティアに従事するのか。
  - ・分野毎に登録していただき、個別に研修を行った上で従事していただいている。
- ▶ 大分県の人口は大分市に集中しているが、県立施設は県内にバランス良く配置されているか。県立施設が大分市に集中していることについて、県民の反応はどうか。
  - ・美術館をどこに整備するかという議論の中で大分市以外の案もあったが、最終的には県の芸術文化ゾーンを形成し、一体となって事業展開していくためにこのエリアとなった。比較的アクセスが良いこともあり、県庁所在地に偏っているという声はないように感じる。
- ▶ 駅から商店街のアーケードで当施設まで結ばれているが、商店街との連携はどうか。
  - ・商店街の方も積極的に連携・協力してくれている。県と商店街、財団等で実行委員会を形成し、七夕やクリスマスの装飾やイベント実施、美術館の企画展との連携等を行っている。



【施設概要説明】



【音の泉ホール】



【グランシアタ内】



【iichiko Space Be (地階ロビー)】



# 『大分県立美術館（OPAM）』

## 【視察対応者】

副館長 加藤康彦氏

## 【視察概要】

### 1. 整備の経緯

- 県立芸術会館の老朽化や美術館機能の脆弱性を背景に、大分県の芸術文化の中心となり、心豊かな人づくりや地元出身の芸術家の作品の収集・展示、さらには、地域活性化やまちづくりの顔となる拠点施設として、大分市中心街に整備された。

### 2. 施設の概要

- 施設は、シンプルな箱型の建物をガラスで覆い、外壁やペDESTリアンデッキには竹工芸をイメージしたデザインを採用している。広いアトリウムに加え、カフェ、ライブラリー、ミュージアムショップ等を設置し、気軽に立ち寄れる空間となっている。隣接するオアシスひろば21と屋根付きのデッキでつながっており、両施設の様々なイベントを同時に体験できるようになっている。

- 展示室A・B、コレクション展示室（床面積3,883㎡）
- 第1・2収蔵庫等（床面積2,330㎡）
- アトリエ・研修室等（床面積977㎡）
- ミュージアムショップ・カフェ等（床面積1,678㎡）
- 駐車場250台（うち地下駐車場107台）
- 駐輪場400台

- コンセプトは「五感のミュージアム」と「出会いのミュージアム」

- 「五感で楽しむことができる」美術館
- 「出会いによる新たな発見と刺激のある」美術館
- 「自分の家のリビングと思える」美術館
- 「県民とともに成長する」美術館

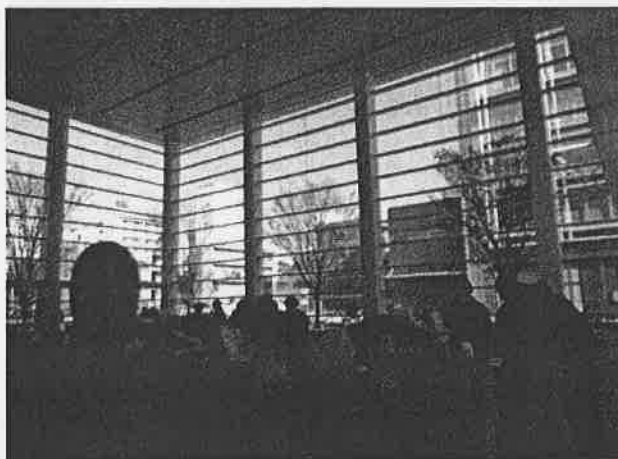
### 3. 説明概要

- 平成27年度は、開館初年ということもあり、64万人の入館者があった。特に、伊藤若冲らの作品を集めた開館記念展や、漫画「進撃の巨人」展には、県内外から多くのお客様が訪れた。
- 展示作品の鑑賞者のほかに、カフェやミュージアムショップに来る方も多く、美術館として芸術文化ゾーンにおける役割も果たしている。
- 常設展、企画展のみならず、県内各地での巡回展を実施しているほか、重点施策として、教育普及事業に力を入れている。小中学校等へのアウトリーチ事業を通じ、子ども達に美術を核としながら楽しく大分を学ぶ機会を提供している。各学校等で実施したプログラムで制作した教材は、美術館内に教材ボックスとして展示し、誰でも鑑賞できるようになっている。また、県の教育委員会と連携し、教員の初任者研修に美術館スタッフによるカリキュラムを取り入れた。

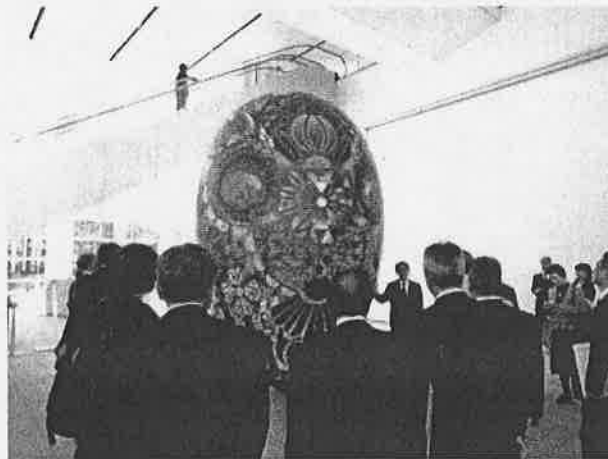
- 2年目となり、来館者数が落ち着いてきているが、引き続き、大分県立美術館ならではの取組を行いながらも、県民のニーズに即した集客力のある企画展を行っていくことも重要であると考えている。

#### 4. 質疑応答

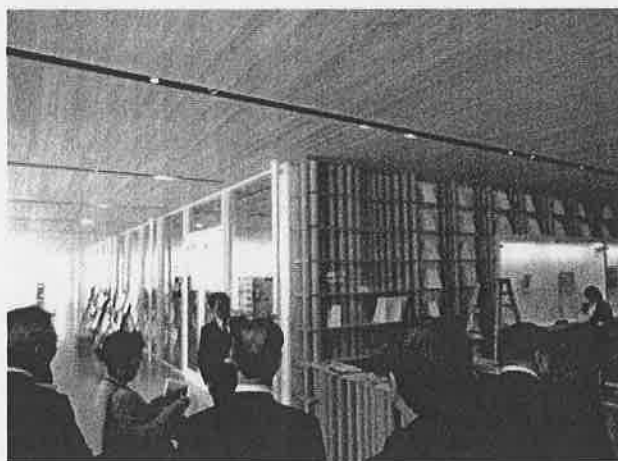
- 教育普及において、学校と連携した取組を行っているとのことだが、美術館の事業を授業の中に取り入れるに当たって、学校にどのようにアプローチしたのか。
  - ・教育課程の中に、美術や図工のカリキュラムとして取り入れるのは非常に難しいので、総合教育の時間を使って実施している。当初は離島の義務教育学校でモデルケースを実施し、各学校の意向を聞きながら、徐々に取組を広めていった。他に大学の教員養成課程との連携（科学研究実証事業）や教員の初任者研修との連携も行っている。
- 1年目と比較して、2年目の入館者数はどうか。
  - ・開館年は64万人の入館者があったが、それに比べると2年目は伸び悩んでいる。企画展において、滅多に見ることができないもの、ここでしか見ることができないものを開催すると、やはり県内外から多くの来館者がある。そのような企画を立てることも重要と考える。



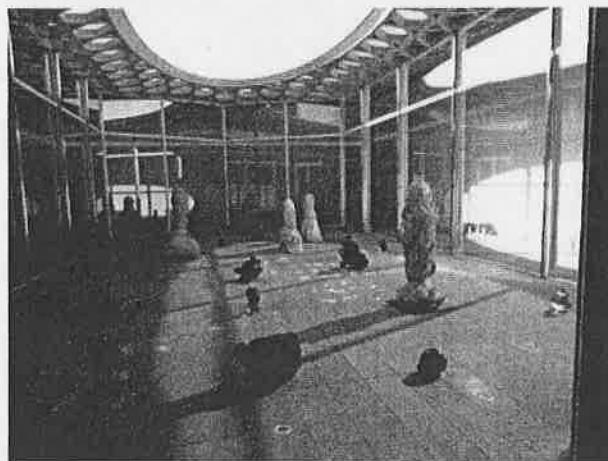
【ミュージアムショップ】



【1階ホール】



【2階情報コーナー】



【3階展示室前屋外オブジェ】

# 『ホルトホール大分（市立複合文化交流施設）』

## 【視察対応者】

ホルトホール大分みらい共同事業体 統括責任者 是永幹夫氏

## 【視察概要】

### 1. 整備の経緯

- ホルトホール大分は、市民ホール、図書館、社会福祉協議会、産業活性化プラザ、保育所等の移転、障がい者福祉センター、子育て交流センター等の新設、民間収益事業者との同居など、数多くの機能を複合させた市民の交流施設として、平成 25 年に大分駅前に開館した。

### 2. 施設の概要

- 敷地面積 18970.61㎡
- 延床面積 36904.66㎡
- 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階
- 市民ホール、社会福祉協議会、障がい者福祉センター、産業活性化プラザ、大学コンソーシアム、福祉交流ひろば、トレーニングルーム、ヘルスアップルーム、会議室
- 図書館（市直営）、保育所（市直営）、子育て交流センター（市直営）、人権啓発センター（市直営）、まちづくり情報プラザ（市直営）
- キッチンスタジオ、レストラン
- ケーブルテレビ（民間運営）
- カフェ（民間収益施設）、銀行（民間収益施設）、健康保険組合（民間収益施設）
- 屋上公園

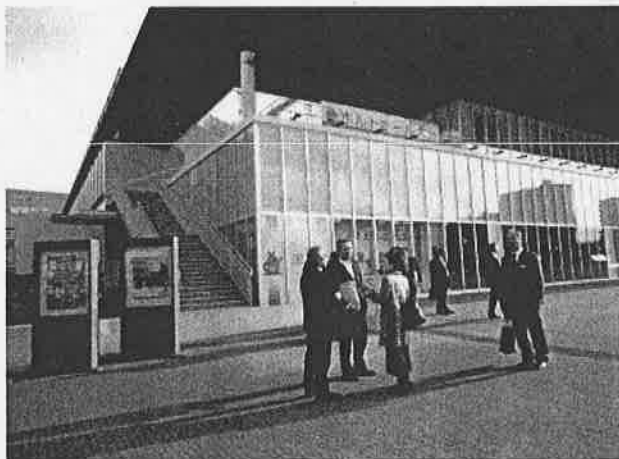
### 3. 説明概要

- 指定管理は、5つの事業者がJVを形成し、ホルトホール大分みらい共同事業体として請け負っている。
- 文化ホールや図書館の利用者数が多いほか、立地特性を活かしてコンベンション施設としても活用されている。また、「市民の家」というコンセプトを掲げているが、駅前ということもあり、学生や高齢者の憩いの場ともなっている。ロビーで勉強している高校生の姿が多く見受けられ、子どもの居場所という役割も果たしている。

### 4. 質疑応答

- これほど多くの機能を集約することのデメリットはないのか。施設を分散させた方が利便性が高いという意見はないか。
  - ・大分駅周辺はアクセスが良く、地下に駐車場もあるので、あまりそういった声はない。むしろ、駅前の徒歩圏内に、美術館やコンバルホール等もあるので、集中していた方が利用しやすいように感じる。

- ▶ 大きな催事するときなど、かえって混雑するのではないか。
  - ・ロビーを広く取っていて、かつ複数の入口が設けられているため、それほど混乱は見られない。
- ▶ 複合施設のメリットは何か。
  - ・この施設の中で、複数の目的を達することができることや、長時間滞在できること等が挙げられる。駅前で広いスペースを有したホテル等もなく、コンベンションにもよく利用される。



【施設外観】



【市民ホール】



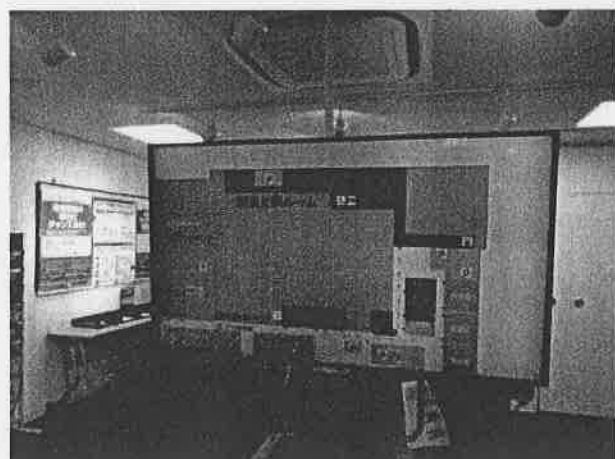
【市民図書館】



【施設案内】



【屋上公園】



【2階創業支援ルーム】

## 5. 所感

今回視察した大分県立総合文化センター及び大分県立美術館、ホルトホール大分は、いずれも大分駅周辺の市街地に立地しており、県庁所在地ということもあるが、都市の規模に見合った大規模な施設であった。

また、どの施設も最近整備されたものであり、中心街に賑わいをもたらしている施設という印象を受けた。

一方、当市の中心街においては、公会堂は昭和 50 年、美術館は昭和 61 年の開館であるが、どちらの建物も既に 30 年から 40 年が経過している状況である。

美術館については、平成 32 年度に新たな美術館を整備していくことが決定しているが、今後は、美術館だけではなく、八戸市公会堂や八戸ポータルミュージアムも交えた、議論が必要であると考えます。

第3号様式（第6条、第8条関係）

平成28年12月19日

会派名 無所属  
代表者名 吉田 淳一 様

氏 名 吉 田 淳 一



## 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 吉田 淳一 議長
- 2 期 間 平成29年1月10日(火)～平成29年1月12日(木)
- 3 場 所 滋賀県長浜市、長野県上田市
- 4 目的及び内容 滋賀県長浜市  
・観光振興策について  
長野県上田市  
・サントミュージゼについて
- 5 経 費 96,690円  
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	1/10	本八戸駅発 10:42	早見表					
き	1/10	長浜駅着 17:10						
帰	1/12	上田駅発 12:39						
	り	1/12		本八戸駅着 17:24				
経路・滞在地  別紙のとおり			鉄道運賃	1091.6k	13,180	13,180	本八戸→長浜	
				329.1k	5,620	5,620	長浜→篠ノ井	
				766.6k	10,800	10,800	上田→本八戸	
				k				
			急 行 料 金	特	1	6,160	6,160	八戸→東京 631.9k
					1	4,750	4,750	東京→米原 445.9k
					1	2,380	2,380	名古屋→篠ノ井 241.5k
					1	2,590	2,590	上田→大宮 158.9k
					1	5,950	5,950	大宮→八戸 601.6k
			特別車両 料 金		1	4,110	4,110	八戸→東京 631.9k
					1	5,300	5,300	東京→米原 445.9k
					1	4,110	4,110	名古屋→篠ノ井 241.5k
					1	2,060	2,060	上田→大宮 158.9k
					1	4,110	4,110	大宮→八戸 601.6k
宿泊料		2	12,500	25,000	1/10 長浜市、1/11 上田市			
しなの鉄道		1	570	570	篠ノ井→上田			
小 計						96,690		
合 計（小計×人数）						96,690	1名	

視察日程表 平成29年1月10日(火)～1月12日(木) 2泊3日・参加議員 伊藤 圓子 議員、山名 文世 議員、吉田 淳一 議長 計3名

月 日	行 程	宿 泊
1月10日 (火)	<p>10:42 発 本八戸 - 八戸線 - 八戸 - はやぶさ16 - 東京 - のぞみ41 - 名古屋 - ひかり517 - 米原 16:44 着</p> <p>17:01 発 米原 - 琵琶湖線 - 長浜 17:10 着</p>	長浜市内
1月11日 (水)	<p>10:00～11:30 長浜市 視察 「観光振興策について」                      [会場] 長浜市議会 〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632                      [対応] 長浜市議会事務局 担当：イワサキ 様 TEL 0749(65)6547 FAX 0749(62)5800</p> <p>12:05 発 長浜 - 琵琶湖線 - 米原 12:15 着/12:30 発 米原 - 東海道本線 - 大垣 13:02 着/13:11 発 大垣 - 東海道本線 - 名古屋 13:43 着</p> <p>14:00 発 名古屋 - 特急トビビューしなの15 - 篠ノ井 16:46 着/16:55 発 篠ノ井 - しなの鉄道 - 上田 17:26 着</p>	上田市内
1月12日 (木)	<p>10:00～11:30 上田市 視察 「サントミューゼについて」                      [会場] サントミューゼ 〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15                      [対応] 上田市議会事務局 担当：ホシノ 様 TEL 0268(22)0452 FAX 0268(23)5136</p> <p>12:39 発 上田 - あさま616 - 大宮 13:46 着/14:46 発 大宮 - はやぶさ23 - 八戸 17:04 着/17:15 発 八戸 - 八戸線 - 本八戸 17:24 着</p>	



平成29年2月16日

会派名 無所属  
代表者名 吉田 淳一 様

氏 名 吉 田 淳 一



### 調査視察等報告書

平成28年12月19日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 吉田 淳一 議長
- 2 期 間 平成29年1月10日(火)～平成29年1月12日(木)
- 3 場 所 滋賀県長浜市、長野県上田市
- 4 概 要 別紙のとおり

2017年1月11日（水）

長浜市視察「観光振興策について」

吉田淳一議員、伊藤圓子議員、山名文世議員  
挨拶 長浜市議会副議長・柴田光男  
担当職員 市議会事務局副参事・岩崎公和  
観光振興課・堤 昭彦

市制施行 2006年2月13日、合併により長浜市が誕生  
人口 120,595人（2016年4月1日現在）  
世帯数 44,776世帯  
面積 681.02 km<sup>2</sup>  
職員数 現員 1,019人（条例定数 1,060人）

2016年12月1日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に、八戸三社大祭を含む「山・鉾（ほこ）・屋台行事」33件の登録が決まった。

その中で、滋賀県長浜市にある日本三大山車祭の1つが「長浜曳山祭（ながはまひきやままつり）」である。

長浜八幡宮の例祭「長浜曳山まつり」は、豊臣秀吉が長浜を治めた時から始まり、400年を超える歴史を誇るとされる。最大の見どころは、歴史の名士たちがつくりあげた豪華絢爛な曳山とその舞台上で奉納される子ども歌舞伎であると断言する。

5歳から12歳ぐらいまでの男子によって演じられる子ども歌舞伎は、1カ月にもおよぶ厳しい稽古を重ね本番を迎えると言われる。子どもたちは化粧や衣装を身に着け、大人顔負けの役者となり見事に演じ切る、との紹介がなされた。

また、曳山まつりを支えているのが地域の「山組」で、子ども役者はやがて「若衆」となって歌舞伎執行の中心となる。若衆を45歳で卒業した人は「中老」となり、山組の管理や運営に関わる。こうしたそれぞれの世代が役割を果たし、力を合わせて曳山まつりを守り育てているとされる。

長浜市では、1983年に長浜城が再興され、89年に旧国立第三百三十銀行長浜支店の黒漆喰の外観から「黒壁銀行」と呼ばれ親しまれてきたもので、89年7月に「黒壁ガラス館」をオープンして以来、商業観光と観光まちづくりの推進によって、現在は年間280万人の観光客が訪れるという。

しかし、日帰り客が全体の9割を占めていることから、より交流効果の高い宿泊・滞在観光を推進していく必要がある、との説明がなされた。

質問の中で、宿泊率を高める施策と課題についての問いに対し、夜型のイベントを開催し、それに対する補助金を市が拠出しているとの答弁があった。

また、八戸の山車は毎年作り変えるが、曳山は毎年作りかえるのか？との質問に対し、作り変えないとの答弁があった。それは、伝統を守り保存していくためであるとの理由からである。

それに納得したのは、「長浜市曳山博物館」の現地視察をした際、内館には数百年前の曳山を4山収蔵（常時2山展示）し、毎年入れ替えているとのことで、伝統文化の継承事業を推進している人たちの厚い思いが伝わる作品を拝観したからであった。

また、各「山組」へ参加する地元単位での子供が足りなく、他町から借りてくるとのことで、祭りに対する町内相互の協力や熱意が聞かれた。

尚、「柴田光男」長浜市議会副議長は、視察団3名への歓迎のあいさつの後、観光振興課の「長浜観光の歴史」「曳山まつりについて」「観光の現状と課題」等の紹介、及び私たちの質問等の視察に最後まで同席され、花を添えていただいた。

八戸市の三社大祭等の保存伝承、観光振興等に参考になる視察であった。

[1] 上田市概要

- 人口 159,460人 (H28 4/1現在)
- 高齢化率 28.9%
- 世帯数 66,420 世帯
- 市職員数 1,197人 (-般行政)
- H28年度当初予算
  - 一般会計 68,666,950 千円
  - 特別 " 36,587,213
  - 企業 " 18,137,800
  - 合計 123,391,963 千円

○ 専門意見の集約

- ・ H22.7. 「交流・文化施設市長代わり」を設置
- ・ H22.8 有識者による「設計者選定専門委員会(略)」を設置し、公募型設計プロポーザル方式により選定(10月)

○ H22.8 整備用地取得

- H23.1 「運営管理計画検討委員会(略)」を設置。運営管理計画案、基本設計案への利用団体、市民説明会で意見交換

[2] 「サントミューゼ」

上田市交流文化芸術センター・上田市美術館

(1) 整備経緯

1) 場所

新幹線と千曲川に挟まれた上田駅に近い広大な土地の公共公益ゾーンに整備。

H14.7. 日本たばこ産業(株)(JT)の上田工場廃止跡地の利用で19haは民間開発で商業ゾーン、住宅ゾーン等の整備や上田市が2.55.4haを取得し、市民アンケートの結果を踏まえ老朽化した市民会館文化会館、美術館等を二に整備することになった。

2) 施設整備

- 整備方針は、JT跡地の利活用に伴う市民アンケート調査を実施し、水も踏みてH19.1月公共利用の方向性を決定し、(1位 市民会館等交流施設 46.2%) (2位 公園等レジャー施設 36.9%) (3位 美術館等の文化施設 15.5%)

○ 市民意見の集約

整備に関する市民意向の調査オープンにアンケート市民アンケート等々、市民の意向、要望に沿って整備に努め市民協働で施設利用館に向けていこうとする姿勢で推進。

H21.2月「交流・文化施設等整備計画」を策定

○ 建設工事 「総合評価方式」により初年度工事

H24.4 「施設建設工事総合評価審査委員会」設置

H24.6 施工業者選定

H24.8 工事着工

総合評価方式による選定

(地域貢献度の高い内容の提案業者(分離発注)により地元業者の振興市内業者への発注率を示した提案)

○ 南会館に10/1+2

- ・ 上田市全体の文化、芸術の気運を高めることを実施。
- ・ 工事現場の工事仮囲いへの高松美術研修班の作品製作、展示で協力頂く
- ・ ミニ美術館を仮に作りオープンに10/1+2様々なイベントを実施し気運を高める。
- ・ 愛称の募集(H25.11月~)で1649件の応募の中から「サントミューゼ」が最優秀賞に選ばれた。(倉部・上田市の史)

○ 竣工

H26.10. 全体工事費132億円

財源(合併特例債等の活用)

市の負担 5億6800万円程+2つの基金

○「サトミュージーゼ」のコンセプトは  
 「育成」  
 “文化・まち・文化・芸術を育む”  
 このための事業の展開

○維持・管理・運営（サトミュージーゼ）  
 ・当面は市直営で、市責任をもち  
 50~100件の大事業を開催。  
 （※いづれは指定管理者へ移行す  
 ること視野に入れている）  
 ・市美術館の役割として  
 ①市民の美術・芸術鑑賞の機会を  
 提供、②市民の活動の場、表  
 表の場  
 ①においては、本物の芸術に接  
 する機会を提供

○事業（サトミュージーゼ）  
 ・事業費 2億円 } 総合的に  
 ・管理費 2億円 } (お.決算で  
 4億円を切る)  
 市の文化度もまだまだ低いので  
 サトミュージーゼのホール・市美術  
 館の施設での事業に、金は  
 かかるが、ムダにしない

《所感》

○JT跡地の利活用についての  
 アンケート実施。市とJTとの合同の  
 市民公聴会開催、施設整備に  
 関する市民意向調査、施設等整  
 備計画の市民説明会や地域協  
 議会開催で市民意見集約等々  
 市内各の意見が不仅もかま  
 まに市民とともに整備を進めた  
 事業だった。実に丁寧な進め方  
 を感じた。

文化施設は建設は終りにあつた  
 から市民と共に育て盛り上げてい  
 かねばならぬ。莫の文化振興につ  
 ながる。計画段階から自分  
 たちのホール、美術館という意識を  
 養い、備前内容は市民の意向を  
 十分に反映させたものにしている。

特に南館に向け、市民協働で  
 「文化の薫るまちづくり実行委員会」を  
 結成し、期待感の醸成を図  
 り、その期待感の現われか、各  
 施設を合わせた愛称の募集に  
 1649件も寄せられた。

市民と共に歩む施設はスタート  
 時点と南館おのりプロセスの肝心  
 だと痛切に感じた。

さらに地域とアート関係文化  
 リーダーの育成を目指す。「うた・ス  
 タッフアカデミー」を開設し毎年進  
 進実施している。ポスターや研修  
 の域を越えたアカデミックな取り  
 組みは当市でも検討すると思  
 った。

ホールと美術館の単用型の  
 通路をつくり来訪者数にも  
 相乗効果がある。

当市の近々の文化施設が互いに  
 相乗効果の上る連携が望まれる。